

2019年6月24日

各 位

上場会社名 アールビバン株式会社  
 代表者 代表取締役会長兼社長 執行役員 野澤 克巳  
 (コード番号 7523)  
 問合せ先 取締役執行役員 経営企画室長 樋口 弘司  
 (TEL 03-5783-7171)

(訂正・数値データ訂正)

「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は2019年5月15日に公表いたしました「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後、有価証券報告書の作成過程におきまして、連結キャッシュ・フロー計算書の記載の一部に訂正が生じたので、関連数値及び記載内容の訂正を行うものであります。なお、今回の訂正による経営成績及び財政状態への影響はございません。

2. 訂正箇所

(1) サマリー情報

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日) (3) 連結キャッシュ・フローの状況

(2) 添付資料3ページ

1. 経営成績等の概況 (3) 当期のキャッシュ・フローの状況

(3) 添付資料11ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(4) 添付資料12ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (表示方法の変更)  
 (連結キャッシュ・フロー計算書)

3. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付しております。

(1) サマリー情報

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日) (3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	<u>792</u>	<u>1,115</u>	156	<u>5,948</u>
2018年3月期	1,040	△1,264	△1,040	3,865

【訂正後】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	<u>1,064</u>	<u>818</u>	156	<u>5,923</u>
2018年3月期	1,040	△1,264	△1,040	3,865

## (2) 添付資料3 ページ

### 1. 経営成績等の概況 (3) 当期のキャッシュ・フローの状況

#### 【訂正前】

##### (3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,083百万円増加し、5,948百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は792百万円（前連結会計年度は1,040百万円の獲得）となりました。

これは主に売上債権の増加額1,333百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益2,793百万円の計上等の増加要因があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は1,115百万円（前連結会計年度は1,264百万円の使用）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出754百万円等の減少要因があったものの、有形固定資産の売却による収入1,642百万円等の増加要因があったことによります。

（省略）

#### 【訂正後】

##### (3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,058百万円増加し、5,923百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1,064百万円（前連結会計年度は1,040百万円の獲得）となりました。

これは主に売上債権の増加額1,333百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益2,793百万円の計上等の増加要因があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は818百万円（前連結会計年度は1,264百万円の使用）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出862百万円等の減少要因があったものの、事業譲渡による収入1,477百万円等の増加要因があったことによります。

（省略）

## (3) 添付資料11ページ

## 3. 連結財務諸表及び主な注記 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	857,946	2,793,540
減価償却費	96,961	144,740
減損損失	119,995	141,925
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△183,422	△27,752
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,224	△17,004
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△8,940	△952
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	19,404	3,636
受取利息及び受取配当金	△22,623	△17,777
資金原価及び支払利息	57,688	68,261
投資有価証券売却損益 (△は益)	△95,147	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	△2,495	4,091
デリバティブ損益 (△は益)	141,873	76,356
店舗閉鎖損失	18,643	687
為替差損益 (△は益)	113,833	△19,301
事業譲渡損益 (△は益)	—	△1,279,040
売上債権の増減額 (△は増加)	170,773	△1,333,628
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△23,701	162,678
前払費用の増減額 (△は増加)	△40,265	16,594
長期未収入金の増減額 (△は増加)	79,053	39,771
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,974	△5,858
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△39,430	314,006
その他	<u>178,363</u>	<u>3,792</u>
小計	1,451,708	<u>1,068,768</u>
利息及び配当金の受取額	24,048	18,369
利息の支払額	△56,779	△68,000
法人税等の支払額	△378,238	△226,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,040,740	<u>792,206</u>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△344,790	<u>△754,428</u>
有形固定資産の売却による収入	—	<u>1,642,932</u>
投資有価証券の取得による支出	△623,034	△195,732
投資有価証券の売却による収入	591,211	—

差入証拠金の純増減額（△は増加）	△880,000	661,769
貸付けによる支出	—	△280,000
貸付金の回収による収入	132,339	134,999
無形固定資産の取得による支出	△13,521	△8,689
敷金及び保証金の差入による支出	△112,934	△50,596
敷金及び保証金の回収による収入	9,189	18,171
出資金の分配による収入	5,950	—
その他	△29,029	△52,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,264,618	<u>1,115,584</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	287,500	△62,500
リース債務の返済による支出	△97,072	△48,041
長期未払金の返済による支出	△46,285	△46,182
長期借入れによる収入	524,700	2,320,000
長期借入金の返済による支出	△1,134,428	△1,468,170
社債の発行による収入	—	550,000
自己株式の取得による支出	△186,265	△811,341
配当金の支払額	△388,231	△381,635
セールアンド割賦バック取引による収入	—	104,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,040,083	156,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	△113,833	19,301
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,377,795	<u>2,083,256</u>
現金及び現金同等物の期首残高	5,243,431	3,865,636
現金及び現金同等物の期末残高	3,865,636	<u>5,948,893</u>

## 【訂正後】

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	857,946	2,793,540
減価償却費	96,961	144,740
減損損失	119,995	141,925
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△183,422	△27,752
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,224	△17,004
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△8,940	△952
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	19,404	3,636
受取利息及び受取配当金	△22,623	△17,777
資金原価及び支払利息	57,688	68,261
投資有価証券売却損益 (△は益)	△95,147	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	△2,495	4,091
デリバティブ損益 (△は益)	141,873	76,356
店舗閉鎖損失	18,643	687
為替差損益 (△は益)	113,833	△19,301
事業譲渡損益 (△は益)	—	△1,279,040
売上債権の増減額 (△は増加)	170,773	△1,333,628
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△23,701	162,678
前払費用の増減額 (△は増加)	△40,265	16,594
長期未収入金の増減額 (△は増加)	79,053	39,771
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,974	△5,858
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△39,430	314,006
<u>前受金の増減額 (△は減少)</u>	<u>129,436</u>	<u>300,717</u>
その他	<u>48,927</u>	<u>△25,098</u>
小計	1,451,708	<u>1,340,595</u>
利息及び配当金の受取額	24,048	18,369
利息の支払額	△56,779	△68,000
法人税等の支払額	△378,238	△226,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,040,740	<u>1,064,032</u>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
<u>定期預金の預入による支出</u>	—	<u>△25,000</u>
有形固定資産の取得による支出	△344,790	<u>△862,709</u>
有形固定資産の売却による収入	—	<u>1,700</u>
<u>事業譲渡による収入</u>	—	<u>1,477,687</u>

投資有価証券の取得による支出	△623,034	△195,732
投資有価証券の売却による収入	591,211	—
差入証拠金の純増減額（△は増加）	△880,000	661,769
貸付けによる支出	—	△280,000
貸付金の回収による収入	132,339	134,999
無形固定資産の取得による支出	△13,521	△8,689
敷金及び保証金の差入による支出	△112,934	△50,596
敷金及び保証金の回収による収入	9,189	18,171
出資金の分配による収入	5,950	—
その他	△29,029	△52,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,264,618	<u>818,758</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	287,500	△62,500
リース債務の返済による支出	△97,072	△48,041
長期未払金の返済による支出	△46,285	△46,182
長期借入れによる収入	524,700	2,320,000
長期借入金の返済による支出	△1,134,428	△1,468,170
社債の発行による収入	—	550,000
自己株式の取得による支出	△186,265	△811,341
配当金の支払額	△388,231	△381,635
セールアンド割賦バック取引による収入	—	104,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,040,083	156,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	△113,833	19,301
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,377,795	<u>2,058,256</u>
現金及び現金同等物の期首残高	5,243,431	3,865,636
現金及び現金同等物の期末残高	3,865,636	<u>5,923,893</u>

(4) 添付資料12ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (表示方法の変更)  
(連結キャッシュ・フロー計算書)

【訂正前】

記載なし

【訂正後】

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「前受金の増減額」は、金額の重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた178,363千円は、「前受金の増減額」129,436千円、「その他」48,927千円として組み替えております。

以上